

## 概要

平成23年12月の安保会議決定及び閣議了解において、我が国が取得するF-35A（42機）については、平成24年度に完成機4機を取得し、平成25年度以降は国内企業が製造に参画することとしており、主たる国内企業として、三菱重工業（機体）、I H I（エンジン）、三菱電機（ミッション系アビオニクス）が製造参画することとなっているところ。

I H I は、平成25年度以降、エンジンの最終組立・検査（F A C O）及びエンジン部品の製造について米国P & W（プラット・アンド・ホイットニー）社との間で下請け生産契約を締結しており、平成28年度以降、I H I 瑞穂工場においてエンジンF A C O が開始される予定。

米側は、エンジン部品等のI H I 瑞穂工場への搬入や同工場で製造した完成エンジンの横田飛行場への運搬等について、保全及び輸送の効率性の観点から横田飛行場とI H I 瑞穂工場の西側隣接地にゲートを設置し運用する予定。

ゲート設置場所については以下のとおり。なお、ゲート設置に要する費用については、米側負担。

## ■ゲート位置図

